

(様式1-3)

塩竈市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 30 年 6 月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.		事業名	子育て支援施設敷地関連取得事業	事業番号	◆B-3-1-1
交付団体		塩竈市	事業実施主体(直接/間接)	塩竈市(直接)	
総交付対象事業費		287,282(千円)	全体事業費		287,282(千円)

事業概要

本事業は、「B-3-1 子育て施設整備事業」の整備予定箇所である、海岸通市街地再開発ビル(D-16-1 海岸通地区震災復興市街地再開発事業)における必要な保留床(敷地・床)を取得するものである。

移設前の子育て支援センターは、当該地区の塩竈市壱番館庁舎 1 階に位置しており、今次津波、地震で安全上の問題を抱えている。

新浜地区に位置する新浜町保育所は、震災により地盤沈下が生じ、壊滅的な被害を受けている。海拔 6メートルであり、指定避難場までは、1.9 キロという平坦地である。安全性等を考慮した結果、津波影響のない、高台への移設が必要不可欠である。市街地中心部に保育施設はなく、近隣施設は高台に位置している。

以上から、子育て支援施設の整備予定地は市内全域の保育需要を補完、一時預かりも受け止めることから、当該再開発ビルが適切と判断したもの。なお、整備予定地は、中心市街地及び近隣の既存建物と土地調査を行った。

【整備する施設内容】

保留床(敷地・床)の取得:全体面積 586.23 m²

内訳:子育て支援施設 約 90 m²、保育施設 約 314 m²、他 EV・WC 等共有スペース 約 182 m²

(旧施設面積:子育て支援センター 176.9 m²、保育所 495.98 m²)

【事業費】 <平成 30 年度> 保留床取得費 287,282 千円 今回申請額 287,282 千円

※塩竈市震災復興計画該当箇所及び概要

P32 7 沿岸地区の復興イメージ P34 (3)本塩釜駅周辺地区 ■復興の方向性

当面の事業概要

<平成 30 年度> 保留床取得

東日本大震災の被害との関係

海岸通地区に位置する子育て支援センターは、被災施設である。

浸水区域ではあるが、移設場所もないことから、防災安全上の問題を抱えているも、同位置で仮復旧とし再建を行っている、高所への移設は今もなお、重要課題である。

新浜町保育所は、地震害により地盤沈下が生じ、施設の傾きが顕著となった施設であり、床面の補修は行っているが、構造上の園舎のゆがみ、亀裂等震災での被害の影響は大きい。

また、水産加工団地に隣接しており、海拔 6メートルであり、さらに、指定避難所まで 1.9 キロという平坦地に位置している。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	B-3-1
事業名	子育て支援施設整備事業
直接交付先	塩竈市
基幹事業との関連性	
当該移設集約箇所は、安全性等を考慮した結果、津波影響のない高台への移設が必要不可欠である。「D-16-1 海岸通地区震災復興市街地再開発事業」により、中心市街地に整備される再開発ビル一部に、当該事業により保留床(敷地・床)を取得し、基幹事業(B-3-1)によって移設集約することは、復興に寄与する他、安心した子育てを身近な地域で支えることとなる。	